

ノーマネットはくさん 平成29年度重点課題

★活動目標		
<p>○障害のある人一人ひとりの望むくらしを実現するために支援の質を向上させます</p> <p>○ノーマネットはくさんの活動をとおして、障害のある人の権利擁護に取り組みます</p>		
1	セルフヘルプ活動の充実 (支援が届いていない人への情報発信)	<p>同じような苦しみや悲しみを経験したり、問題を抱えている人々が、互いを理解し、助け合いながら、それぞれの問題の解決を目指してゆく活動である「セルフヘルプ活動」が、地域に根差し活性化するようにあらゆる人への情報発信の仕組みを検討していきます。</p> <p>また、当事者部会や家族のつどいなどの、地域課題の解決にむけた検討の場を充実させ、さらなる活性化を目指しています。</p>
2	年齢等により途切れてしまうことのない、24時間体制の充実した相談体制の整備	<p>対象となる法律やサービスが、18歳や65歳、40歳などの年齢で大きく変化し、障害のある人や家族の生活にさまざまな課題が生じています。ノーマネットはくさんでは、年齢等により途切れることのない質の高い相談支援体制の整備を目指しています。</p> <p>24時間体制の、夜間や休日も含め、必要なときにいつでも安心して相談できるよう、基幹相談支援センターの早期設立も目指すとともに、従来の相談支援体制のさらなる充実を目指しています。</p>
3	本人が望む場でのくらしの実現（地域移行支援の推進等）	<p>障害の有無にかかわらず、望む場所で自分らしい暮らしを実現することができるよう、地域移行支援を推進していきます。</p> <p>入所施設やグループホームなどの住居としての福祉サービスの支援の質の向上や、充実に向けた検討も行うとともに、賃貸住宅を障害のある人も利用しやすくなるための仕組みづくりを目指しています。</p>
4	本人の働く権利とニーズを満たすための就労支援の充実	<p>社会変化や法改正により、障害のある人の雇用の場は急速に拡大しています。その一方で、あまりに急速に拡大したことで、障害特性の理解不足や、適切とは言えない支援によるトラブルも発生しています。また、就労継続支援事業所等では、賃金の保障のための事業所としての収益性の確保の困難さや、定着支援の必要性など、就労支援に関する様々な課題が浮き彫りになっています。ノーマネットはくさんでは、障害のある人の職業選択の自由と権利を尊重し、「一般就労」や「非雇用の福祉的就労」、中間的就労としての「就労継続支援事業A型」などの多様な働き方において、合理的配慮として就労支援が充実できるよう検討を進めていきます。</p>
5	障害により様々な配慮が必要な子どもの権利保障と家族への支援	<p>障害のある子どもが、一人の子どもとして、適切な支援を受けながら地域で当たり前の暮らしを続けることのできるような地域づくりを進めていきます。</p> <p>また、障害をもつ子のいる家族が過重な負担を抱えることなく、一人の人として自分らしく暮らしていくことのできるような地域を目指し、支援のあり方についても検討を進めていきます。</p>
6	障害のある人の高齢化に伴う様々な課題への対応	<p>高齢化が進むわが国では、今、障害のある人の長寿、高齢化が顕著となっています。障害のある人の高齢化に伴い、さまざまな課題が生じています。サービスや制度のはざまに障害のある人の生活に不都合が生じることなく、その人の望む暮らしが安心して継続することができるよう、高齢者福祉の分野とも協働し検討を進めていきます。</p>
7	災害発生時の対策	<p>平常時から障害のある人の日常生活を知り、障害のある人の暮らしやすい環境を整備することが、すべての人にとっての防災にもつながるという視点で、単に大規模な施設等のハード環境面だけではなく、日常生活レベルにおいて、障害のある人に対する理解や障害のある人々とのコミュニケーション方法など、ソフト環境面にも配慮し、誰もが暮らしやすいまちづくりを地域全体で取り組んでいくことができるよう働きかけをしていきます。</p>
8	共生社会の実現にむけた障害に関する普及啓発の推進	<p>さまざまな地域課題を解決するためにも、障害に関する普及啓発が重要となります。ノーマネットはくさんにかかわるすべての人が普及啓発の推進にむけ活動していきます。</p>